

航貨際第 44 号
2019 年 6 月 28 日

IATA ディプロマ認定試験受験予定の皆様

一般社団法人 航空貨物運送協会
国際教育委員会

IATA ディプロマ認定試験のペーパーレス化について（状況報告）

拝啓 皆様におかれましては、益々ご隆盛の事とお慶び申し上げます。

平素より、当協会主催のディプロマ認定試験事業（ATC）につきまして、特段のご理解とご支援を賜り御礼申し上げます。

標記につきましては、IATA より「2020 年 1 月よりディプロマ認定試験を原則、ペーパーレス化しコンピュータを利用して実施する。」旨の通知がありました。この通知は全世界の ATC に向けて発信され、2020 年は基礎コースが対象、危険物コース（資格更新を含む）については、2021 年からのペーパーレス化を計画しているとの情報です。現在、国際教育委員会は IATA 試験窓口に対して、ペーパーレス化への日本側対応に時間を要するため、実施の延期について交渉を進めています。

国際航空貨物を取り巻く環境は、様々な点で電子化への動きが加速しており、皆様の各現場でも対応に苦慮されていると推察いたします。JAFPA 発足当初より、ディプロマ認定試験への取組みは、活動の 3 本柱の一つである「教育訓練」の取組みとして、今日の「受験体制」を構築して参りました。しかしながら、国際航空貨物業界を取り巻く環境が、刻々と変化する中で、当該「受験体制」についても変化に対応するため、大きな転換点を迎えております。

今後、具体的な進展がありましたら随時、報告いたしますが「受験体制」の変更について皆様のご理解を頂き、最善の方法を検討して参りますので、引き続きご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

敬具